

麻布大学 学部学生の授業時間外の学修時間について
(2021年度 麻布大学在学生調査結果から)

1. 概要

▷ 本報告は、2021年度 麻布大学在学生調査結果から「授業時間外の学修時間」に関する質問に特化して集計、報告するもの。
学修時間を把握するに当たってのポイントは次の2点。

- (1) 単位認定に係る授業時間外の学修時間（授業課題や準備学習、復習をする時間）（※1）
- (2) 大学として把握に努める学修時間（授業に関連しない勉強をする時間）

〔※1〕参考：本学で定めている単位認定（1単位）に必要な学修時間	
<講義>	授業15時間+ 予習・復習30時間
<演習・ゼミ>	授業30時間+ 予習・復習15時間
<実験・実習・実技>	授業45時間

2. 調査対象

一年生調査：全学科 1年次学生
上級生調査：全学科 2年次学生～卒業年次学生（獣医学科：6年次、その他の学科：4年次）

3. 調査期間

令和3(2021)年11月18日～令和4(2022)年1月13日

4. 調査方法

WEB上のアンケートフォーム（Google Forms）を使用した記名調査（麻布大学在学生調査）。
大学IRコンソーシアム「2021年度学生調査」の共通調査項目を使用。

- 〔質問項目〕「あなたは次の活動に、「1週間あたり」どのくらいの時間を費やしましたか」
（一年生調査は「入学以来」、上級生調査は「今年度になってから」を調査範囲とする）
- 「授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする時間」
 - 「 - - - 、授業に関連しない勉強をする時間」

〔回答方法〕 単一選択式（選択肢：全然ない、1時間未満、1-2時間、3-5時間、6-10時間、11-15時間、16-20時間、20時間以上）

5. 回答状況

	対象年次	1年生調査	上級生調査
		1年次	2年次～6年次 (※2)
2021年度	対象者数	525	1,848
	有効回答者数	486	1,552
	回答率	92.6%	84.0%
2020年度	対象者数	555	1,058
	有効回答者数	533	898
	回答率	96.0%	84.9%
2019年度	対象者数	526	523
	有効回答者数	480	456
	回答率	91.3%	87.2%

(参考) 大学IRコンソーシアム「学生調査」他大学参加校数

		1年生調査	上級生調査
		参加大学	57
2021年度	有効回答者数	34,712	43,768
	参加大学	55	55
2020年度	有効回答者数	38,536	42,126
	参加大学	57	55
2019年度	有効回答者数	46,172	56,490

〔※2〕上級生調査の対象年次

- 【2021年度】（獣医学科）2年次～6年次(卒業年次)、（その他学科）2年次～4年次(卒業年次)
- 【2020年度】（獣医学科）4年次、6年次(卒業年次)、（その他学科）3年次、4年次(卒業年次)
- 【2019年度】（獣医学科）6年次(卒業年次)、（その他学科）4年次(卒業年次)

【学年別回答数内訳】

■一年生調査

学科	学年	対象者数 (人)	有効回答 者数(人)	回答率
獣医学科	1年次	156	146	93.6%
動物応用科学科	1年次	141	131	92.9%
臨床検査技術学科	1年次	100	97	97.0%
食品生命科学科	1年次	65	54	83.1%
環境科学科	1年次	63	58	92.1%
	計	525	486	92.6%

■上級生調査

学科	学年	対象者数 (人)	有効回答 者数(人)	回答率
獣医学科	2年次	153	135	88.2%
	3年次	139	121	87.1%
	4年次	147	117	79.6%
	5年次	130	93	71.5%
	6年次	149	128	85.9%
	動物応用科学科	2年次	134	123
動物応用科学科	3年次	128	101	78.9%
	4年次	130	114	87.7%
	臨床検査技術学科	2年次	93	83
臨床検査技術学科	3年次	90	73	81.1%
	4年次	96	84	87.5%
	食品生命科学科	2年次	63	55
食品生命科学科	3年次	79	61	77.2%
	4年次	88	67	76.1%
	環境科学科	2年次	77	64
環境科学科	3年次	76	64	84.2%
	4年次	76	69	90.8%
		計	1,848	1,552

(1) 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする時間 (1週間当たり)

▷ 経年比較

1年生調査 (全学科)

▶ 大学IRコンソーシアム「2021年度学生調査」全国傾向

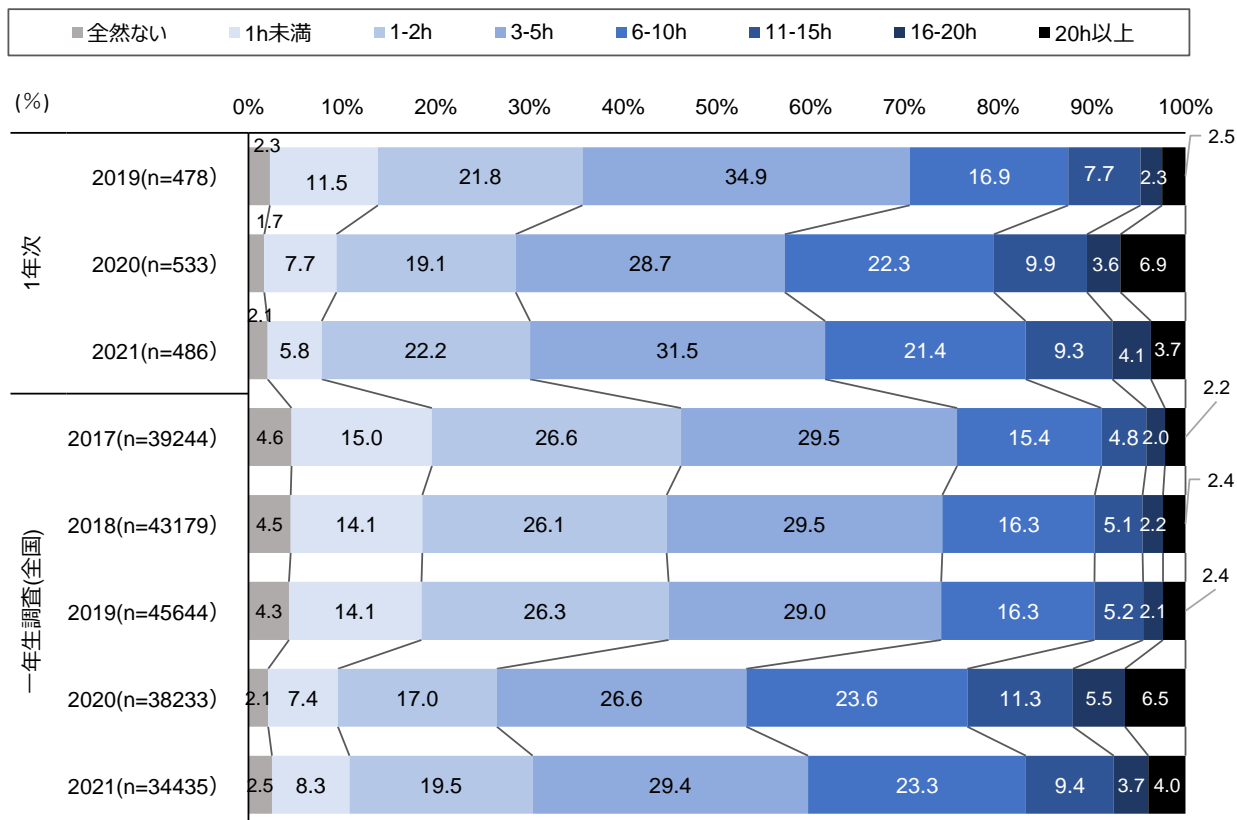
・前年度「2020年度学生調査」の結果では、全国的な傾向として、「授業課題や準備学習、復習をする時間」が増加した。大学IRコンソーシアムの見解では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の対面式授業からオンライン授業（併用含む。）に移行した影響とされている。

・2021年度は、2020年度と比較して全体的に**やや減少**。新型コロナウイルス感染が収束しつつあった影響とみられる。一方で、やや減少したものの、近年は「授業課題や準備学習、復習をする時間」が、**増加傾向にある**。（学修時間3時間以上の割合：2018年度 55.5%、2019年度 55.0%、2020年度 73.5%、2021年度 69.8%）

▶ 2021年度は、本学1年次学生の**70.0%**が、「3時間以上（1週間当たり）」、「授業課題や準備学習、復習をする時間」に費やしていた。2020年度と比較して**やや減少**。（2020年度：71.4%(-1.4ポイント)）

▶ 2021年度は、2020年度と比較して、「1～2時間」及び「3-5時間」の比率が**増加**。他は多少の増減はあるものの2020年度同様の傾向にある。コロナ禍によるオンライン授業への移行に伴う課題、レポート等の量が増加したことの影響が継続されていたといえる。

▶ 本学の2019年度～2021年度間の「授業課題や準備学習、復習をする時間」は、**大学IRコンソーシアム「学生調査」の全国傾向と概ね同傾向**。2020年度から新型コロナウイルス禍による影響が継続していると考えられる。



▷ 経年比較

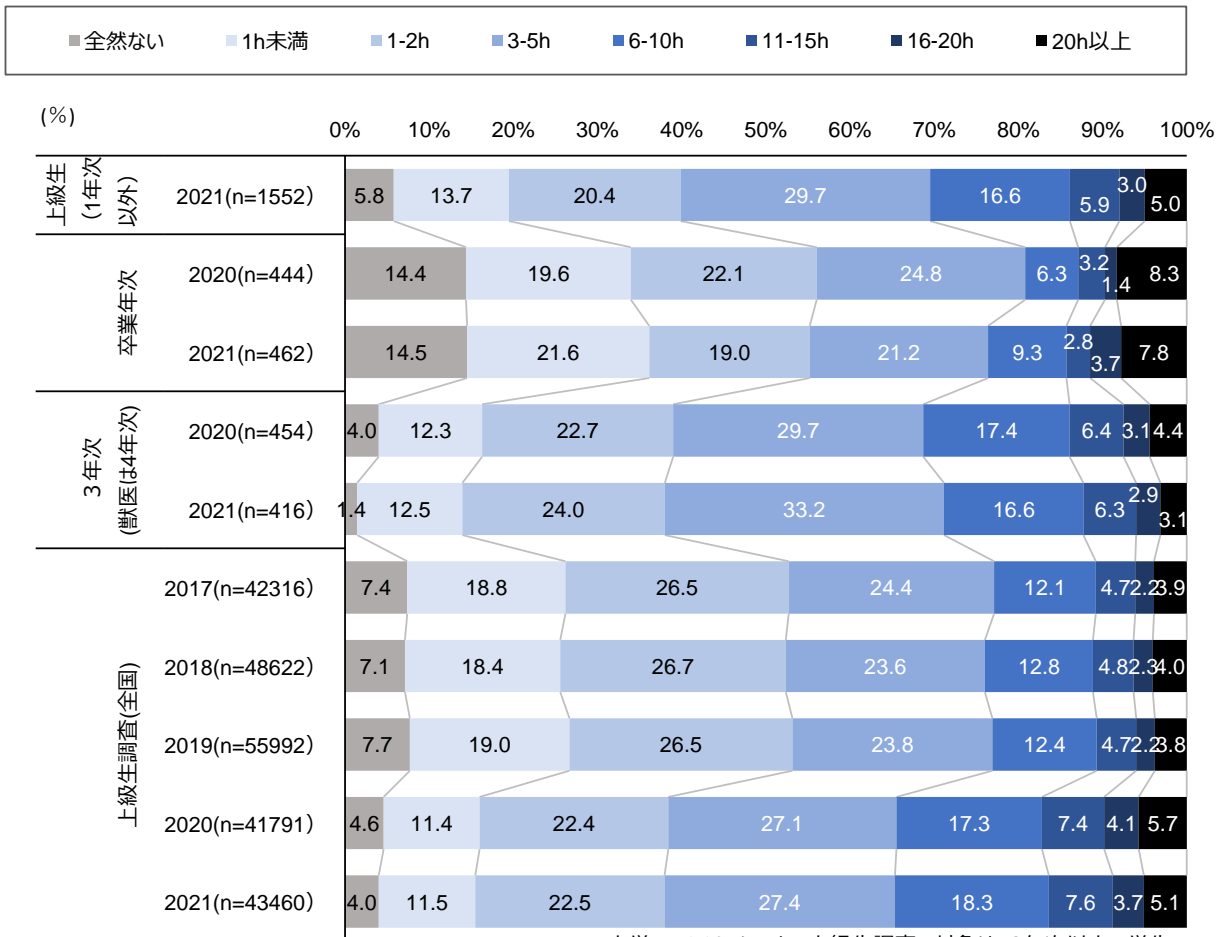
上級生調査 (全学科)

▶ 大学IRコンソーシアム「2021年度学生調査」全国傾向

- ・前年度「2020年度学生調査」の結果では、1年生調査同様に、全国的な傾向として、「授業課題や準備学習、復習をする時間」が増加した。
- ・2021年度は、前年度と比較して**横ばい**。学修時間増加傾向が継続しているといえる。

▶ 2021年度は、上級生学生(獣医学科2年次~6年次、その他の学科2年次~4年次)の「授業課題や準備学習、復習をする時間」が、**全国傾向と同傾向**。今回から初めて1年次以外の全学年次の調査を開始したため、経年比較は次回調査以降行う予定。

▶ 2021年度は、2020年度と比較して、卒業年次学生(獣医学科6年次、その他の学科4年次)の「授業課題や準備学習、復習をする時間」は**横ばい**。



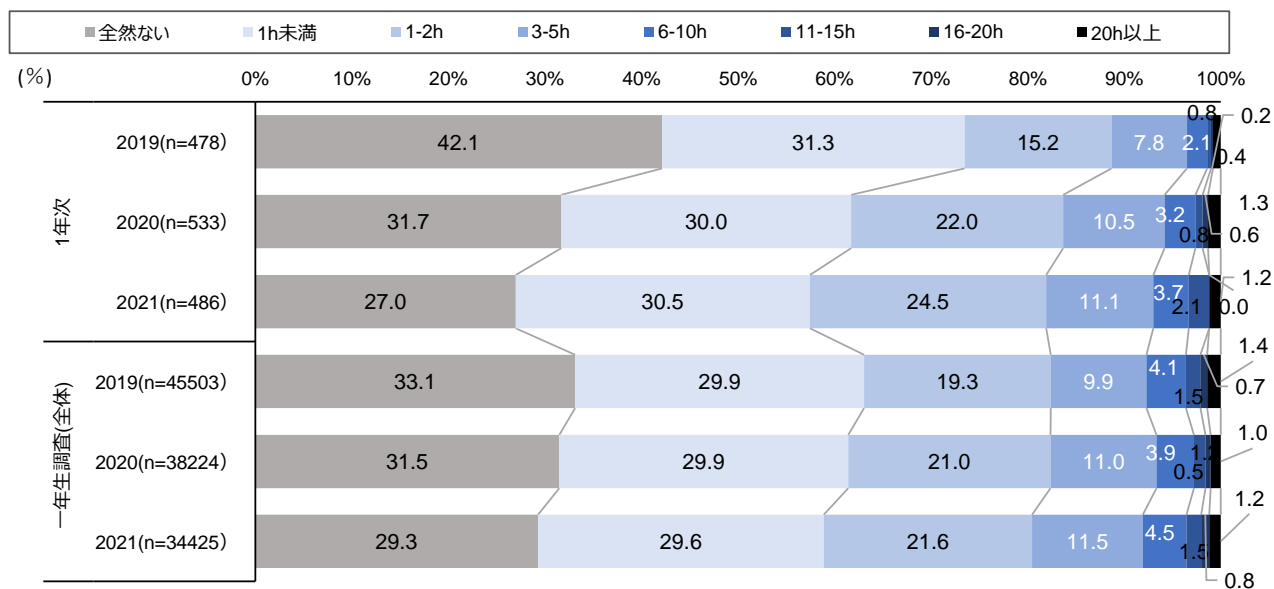
※大学IRコンソーシアムの上級生調査の対象は、2年次以上の学生。

(2) 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする時間（1週間当たり）

1年生調査（全学科）

▶ 2021年度は、1年次学生の**73.0%**が、「授業に関連しない勉強」をしていた（「全然ない」以外の合計）。
2020年度と比較して**増加**（2020年度：68.3%(+4.8ポイント)）。

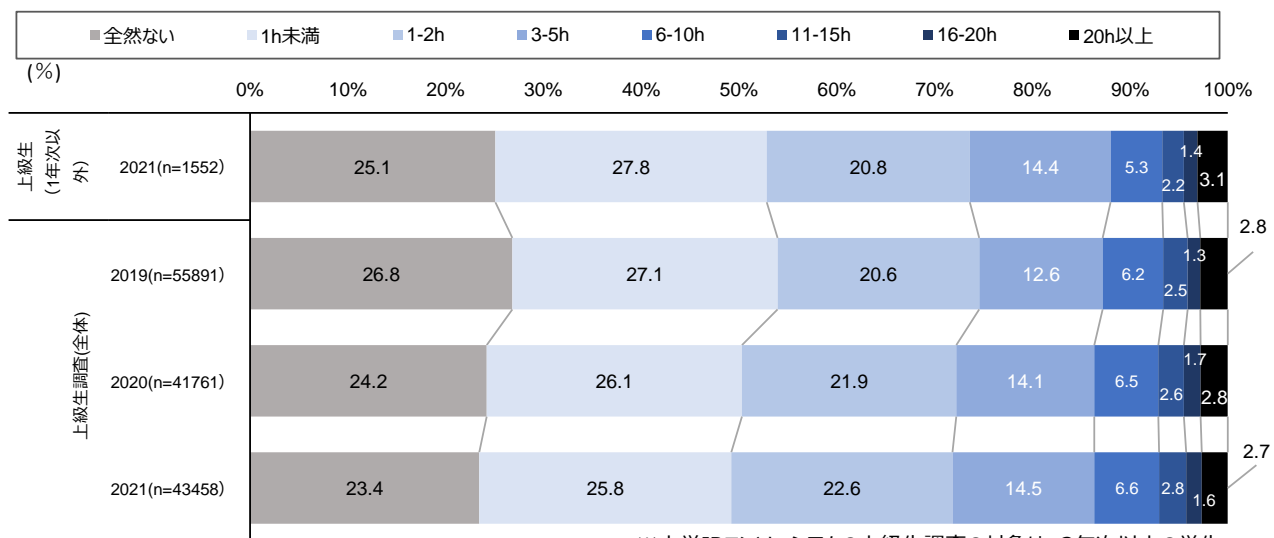
▶ 2021年度は、「授業に関連しない勉強をする時間」が、**全国傾向と概ね同傾向**。



上級生調査（全学科）

▶ 2021年度は、上級生学生の**74.9%**が、「授業に関連しない勉強」をしていた（「全然ない」以外の合計）。
（参考：【2020年度】卒業年次学生72.1%、3年次(獣医学科4年次)学生79.1%)

▶ 2021年度は、「授業に関連しない勉強をする時間」が、**全国傾向と概ね同傾向**。



※大学IRコンソーシアムの上級生調査の対象は、2年次以上の学生。